

北海道知事、小樽の風力計画「地域の理解進んでいない」

2023/6/16 17:31 | 日本経済新聞 電子版

北海道の鈴木直道知事は16日の記者会見で、双日が北海道小樽市と同余市町で計画している風力発電所について「地域の理解が進んでいない」との見方を示した。同計画を巡っては、生態系への影響や土砂災害への懸念などを理由に地元の小樽市が反対意見を鈴木知事に提出していた。



記者会見した北海道の鈴木知事（16日、札幌市）

双日は2市町の国有林に最大26基の風車を建てる計画だ。鈴木知事は「事業者は地元の理解に努めることが必要だ」と語った。環境アセスメントの手続きにのっとり、8月に提出する知事意見については「道の審議会での意見を踏まえて判断する」とした。

北海道は温暖化ガスの排出削減に向け、洋上風力発電など再生可能エネルギー導入促進に力を入れる方針だ。鈴木知事は「環境と経済の好循環を実現したい考えに変わりないが、地域の理解と環境への配慮はないがしろにできない」と述べた。